

令和元年度事業報告書
平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 平和環境もやいネット

1. 事業の成果

例年と同様、会員が獲得した各種助成金等による事業を実施した。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
[1]環境修復・保全と平和巡礼プロジェクトの企画・支援事業						
(1) 熱帯林と開発地の修復・保全	【H16-17JIFPRO 助成事業】沈香植林の生育状況を調査した。約20cm径程度に生育している沈香が多くみられた。現地住民による運営が継続されている。	4-3月	ジャンビ州ラントオラサオ	5人	100人	0
(2) よろず工房	R1年度実施なし					0
(3) 平和巡礼・香木育林事業	【H19 JIFPRO 助成事業】ベトナム戦争の枯葉剤撒布作戦で劣化著しい元ホーチミンルート地帯で、沈香木を25000本植林。ベトナム枯葉剤被害者協会(VAVA)、ANCODEX、トゥアティエン・フエ省アルオイ郡ドンソン社の協力による。現地住民の運営が継続中である。	4-3月	ベトナムアルオイ地区	現地20人	現地20人	0
(4) 熱帯泥炭湿地への在来有用樹種を用いた住民参加型植林事業	【H18 JIFPRO 助成事業】在来有用樹種10ha/10家族に6000本の植林。30年後、10年後、5年後にそれぞれ利用できる3種類の木材の苗を植林。現地住民による運営が継続中である。	4-3月	インドネシア中央カリマンタン州タルナ・ジャヤ村	スタッフ4人、現地住民40人	現地住民	0
[2]地域づくり・人づくりプロジェクトの企画・支援事業						
(1) 小農支援事業	【H27-29 日本国際協力財団助成事業】ローカルな熱帯産物のフェアトレード推進事業を支援、東ティモール産コーヒー豆に関する環境保全型の生産等、適正な情報公開と販売を促進。京都YWCAのコミュニティ・カフェでの扱いを継続。 【H29-R1 りそなアジア・オセアニア財団助成】『スクールガーデンで学ぶパーマカルチャー：東ティモールの環境保全型農業の推進』を採択実施。 【H29 JIFPRO 助成事業】フィリピンベンゲット州サグボ村において、水源涵養のための在来種、コーヒーの苗木と日陰樹を14ヘクタールに植樹した。 【R1 JIFPRO 助成事業】「東ティモールの子どもたちと水源の森を再生する」緑の募金助成事業を7月から開始(一年間の予定)。	4-3月	東ティモール、フィリピンソン島ベンゲット州	4人	契約農家315世帯、	1,147

(2) 美しい湖国事業(守山)	美しい湖国プロジェクトの狙いは、望ましい滋賀県像を描き出し、それを創出するための具体策を提出することである。これを行う最も有効な手段として、関心をもつ人々が集まり、議論するための場を提供することを、第一に考え実施してきた。現在守山市との交流によるブータンのシェラブッチェ・コレッジのGNH Community Engagement Centerの支援(過疎・農業離れ・健康問題に対する若者人材育成)を実施。	4-3月	滋賀県守山市	40人	延べ300人	0
(3) 環境教育	【H26-H27 京都府受託事業 H28以降マナラボで受託】さまざまな地域の環境と文化について、演劇的手法などにより子どもたちや市民と学ぶ新しい教育プロセス開発と実践を後援。	4-3月	京都市左京区	4人	700人	0
(4) サゴヤシプロジェクト	【H24 JIFPRO 助成事業】南スラウェシ州北ルウ県マランケ郡ペンカジョアン村でサゴヤシを200苗植林した。地域住民により成育中。産学地連携によるサゴヤシを使った地域開発モデルができつつある。	4-3月	インドネシア	8名	ペンカジョアン村ラップ地区住民120名	0
(5) JICA 草の根 カメルーンプロジェクト	【JICA 草の根パートナー型】「カメルーン国東部州における小規模農家を対象としたキャッサバ商業化支援事業」においてタスク・インターナショナル/もやいからのべ7名が派遣され、1. キャッサバ加工品の販売ネットワークの形成、2. バイヤーの求めるキャッサバ加工品の安定生産、3. 病害虫管理、地力維持、機械化による省力化技術を軸にした栽培技術の普及をめざした活動が現地 NGO スタッフと共同で実施された。	7月 9月 10月 1月	カメルーン東部州アンドム村	7名	アンドム村68世帯(直接裨益者)、50世帯+村外50世帯(間接裨益者)	2,461
[3] 上記プロジェクトに係る人的交流事業						
(1) 国際学びあい(ピア・ラーニング)	【H26-28 りそなアジア・オセアニア財団助成事業】環境保全事業「コーヒー生産地と消費地をつなぐ、そして学びあうー東ティモール高地の環境保全に向けてー」の学びを受けた珈琲農家の活動が現地で継続している。	4-3月	奈良、京都	3名	200名	0
(2) 海域教育研究所(NGO ルンバガ・プラフ)支援	伝統的木造帆船を中心としたスラウェシの海洋文化を若者に伝える活動を継続。	4-3月	インドネシア	5名	20名	0

法人名： 特定非営利活動法人 平和環境もやいネット

令和元年度 活動計算書
平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
会費収入	180,000	180,000
2. 受取助成金等		
東ティモール環境教育支援事業 助成金	1,000,000	
カメルーンJICA草の根事業 受託事業費	2,461,000	
		3,461,000
4. その他収益		
受取利息	4	4
経常収益計		3,641,004
II 経常費用		
1. 事業費		
東ティモール環境教育支援事業費	1,000,000	
カメルーンJICA草の根事業費	2,461,000	
コーヒー販売支援事業費	10,946	
資料作成費	80,000	
HP管理費	24,000	
通信費	22,826	
租税公課	10,000	
		3,608,772
経常費用計		3,608,772
税引前当期正味財産増減額		32,232
法人税、住民税、事業税		0
当期正味財産増減額		32,232
前期繰越正味財産額		393,653
次期繰越正味財産額		425,885

特定非営利活動法人 平和環境もやいネット 理事長 古川久雄

法人名： 特定非営利活動法人 平和環境もやいネット

令和元年度 貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
手許現金	58,118		
普通預金	474,367		
流動資産合計		532,485	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			532,485
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	0		
未払い法人税等	106,600		
流動負債合計		106,600	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			106,600
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		393,653	
当期正味財産増減額		32,232	
正味財産合計			425,885
負債及び正味財産合計			532,485

特定非営利活動法人 平和環境もやいネット 理事長 古川久雄

法人名： 特定非営利活動法人 平和環境もやいネット

令和元年度 財産目録

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	58,118		
普通預金 三菱UFJ銀行茨木西支店(事務局)	333,629		
普通預金 三菱UFJ銀行茨木西支店(コーヒー事業)	140,738		
流動資産合計		532,485	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			532,485
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	0		
未払い委託費	106,600		
流動負債合計		106,600	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			106,600
正味財産			425,885

特定非営利活動法人 平和環境もやいネット 理事長 古川久雄